

【トピックス】

(P.1～2) 第39期アジア研修生 第2回福祉実践研修を終えて。

(P.3) 南山城学園へのインタビュー！・第1回福祉実践研修研修先との意見交換会を開催！

(P.4) スリランカの文化、歴史との“福祉のいま”を学ぶ～アジア社会福祉WEBミーティングを開催～

第39期アジア社会福祉従事者研修生

私たちは、日本での約11か月間の研修を通して、気づいたことや学ばせていただいたこと、そのすべてを希望につなげ、いつか実現させていきたいと思います。

アイス (タイ)

人が安心して成長し、差別されことなく自由に生きられる社会を願っています。

エイプリル (フィリピン)

すべての人が支え合い尊厳を持って生きる共生社会を目指したいです。

サミーラ (スリランカ)

すべての人が平等で尊厳をもって社会福祉を利用できることを願っています。

ホワン (台湾)

すべての人が、性別による差別や暴力のない環境で成長できますように。

ハディ (インドネシア)

障害の有無を越え誰もが自分らしく彩りある人生を描く事を希望します。

キム (韓国)

さまざまなアジア諸国の福祉をつなぐ架け橋になりたいです。

～今の希望を、未来へ繋いでいきたい～

この研修プロジェクトを通して、一人ではできないことがあるからこそ、みんなで協働することの大切さを強く感じました。

アジアの国が学び合い、助け合うのは、大きな成果が得られると信じています。

第39期アジア社会福祉従事者研修生

第39期生 第2回福祉実践研修状況 報告

〈9月29日－1月8日〉

第2回研修において、研修生全員が、子ども、高齢者、障がい者、地域など、多様な分野の社会福祉に関わる研修先で、理論と実践の両面から経験を積むことができました。本研修は、個人の知識や技能を高めるだけでなく、個人・組織・アジア地域の国々をつなぐ協力関係を築く機会ともなりました。今後、組織間の連携や知識の共有、相互学習が継続され、アジア地域における社会福祉のさらなる発展につながることを願っています。

社会福祉法人慈愛会 (福岡県)

ホッパ



慈愛会の研修で「地域共生社会」の実践を感じました。各施設は地域と連携し、信頼関係を築いています。また、子育て支援を通じて早い段階から関わることで、児童虐待

の予防に取り組んでいる点も印象的でした。

社会福祉法人 大阪自彊館 (大阪府)

キム



自彊館での研修を通じ、相談対応や巡回活動に参加し、利用者の生活背景を丁寧に把握する支援を学びました。現場での関わりを通じ、一人ひとりに寄り添う柔軟な支援の大切さを実感しました。

社会福祉法人常盤会 (鹿児島県)

エイプリル



常盤会での研修を通して、多様な施設を訪問し、質の高い支援や業務の流れ、職員研修、利用者の実情を学びました。また、訪問を通じ、多様なニーズへの対応し、

包括的な個別支援に感銘を受けました。

社会福祉法人 あいのかわ福祉会・同愛会 (栃木県)

アイス



地域社会の連携と信頼関係を基盤に、あらゆるライフステージに応じた個別の支援を通じ、持続可能な生活の質の向上を学びました。これは利用者の自立した生活と、自己

決定を支えるための重要なプロセスであると実感しています。

社会福祉法人天竜厚生会 (静岡県)

サミーラ



研修を通して、日本の社会福祉における子ども、高齢者、障がい者、経済的困難を抱える人々への支援を学び、天竜厚生会にて教育、栄養、健康、安全、生活向上に関する

知識を深めることができました。

社会福祉法人南山城学園 (京都府)

ハディ



研修では単なる生活支援ではなく、利用者が「自分らしく」いられる姿を支える大切さを学びました。一方的ではない相互の関わりの中にこそ安心があり、日々の小さな幸せが

生まれます。個々の可能性を尊重する支援の本質を実感しました。

今回初めてアジア研修生を受け入れていただいた 社会福祉法人 南山城学園のお二人にインタビューしました！

9月末から3か月間の第2回福祉実践研修にて、アジア研修生の受け入れが初めての法人の方へ率直なご感想や気づきなどをお伺いしました！今回は、京都にある社会福祉法人 南山城学園にて、ハディさんを受け入れをしていただきました。同法人の地域福祉支援センター宇治小倉センター長の下前拓也様・障害者支援施設 魁の長野美香様にインタビューしました。

受け入れの率直なご感想を教えてください！

やはりインドネシアからという点、宗教の面で大丈夫かな…と、最初はとても緊張していました。職員とも、文化や食事など、インドネシアについて勉強し、受け入れの準備をしていました。ハディさんが来られて、優しいお人柄や雰囲気ですぐに打ち解けることができ安堵しました！日本語の意思疎通も問題なく、現場でも大活躍でした！

下前さん



私は、魁での研修前、宇治小倉で研修されている時にお会いしたのですが、日本語の上手さに驚きました！そして、ハディさんのゆったりした雰囲気現場も和やかな空気が流れていました。そして、何より、熱意をとて感じました。ハディさんから、夜勤をしたいとの申し出をいただいたときは、本当に向上心の高い人だなと思いました。

長野さん

苦労した点や気づき、受け入れをしたことでの効果などはありますか？

特に苦労したことはないですね、（笑）

移動中の車内での質問も多く、また、研修ノートでも沢山の質問を書いて下さり、自分自身も学ぶことが多かったです。

ハディさんが今回の研修の目的のひとつにしていた障害者の就業支援について説明するにあたり、私も今回改めて整理して、伝えることができたので良い機会だったと思います。また、ハディさんが来られたことで、私自身もご利用者様などに、ゆっくり話す、分かりやすく話すということを意識しなければならないと感じました。

下前さん

本当に積極的に学ぶ姿に感心していました。こちらが苦労したことはないですね…。研修ノートを見て、私自身も改めて考えさせられることも多かったです。また、ハディさんが最後の日に、ご利用者様のおひとりから、`ありがとう`とハディさんに声をかけられたそうで、私達も驚きました。我々も話すことが難しいのかと思っていたご利用者様だったので。これは本当にハディさんが常に寄り添った支援をしてくださっていたからだなと感じることができました。

長野さん

ハディさんに一言お願いします！

また日本にきた際には、
ぜひ京都へ寄ってくださいね！みんなで待ってます！

第39期アジア研修生 第1回福祉実践研修受け入れ法人との意見交換会を開催しました

令和8年1月22日・27日の2日間にわたり、第1回福祉実践研修で研修生の生活面・研修面でお世話になった職員の方々と意見交換会を開催しました。6法人から、13名にご参加いただきました。



それぞれの法人での研修スケジュールの組み方を紹介していただき、今後もアジア研修生の受け入れ法人を広げていくための広報や相互に学びあうためには、？といったことまで、アジア研修事業について幅広く意見交換を行いました！

意見交換前には、第2回福祉実践研修を終えた研修生との再会・交流会も行いました！久しぶりの再会に、みなさん、積もる話に花を咲かせていました！



スリランカの文化、歴史との“福祉のいま”を学ぶ ～アジア社会福祉WEBミーティングを開催～

12月22日に「アジア社会福祉WEBミーティング」を開催しました。“アジア各国の福祉従事者が、お互いに学びあい、ディスカッションできる機会を増やす”ということを目的に、今回初めて開催したものです。Zoomを使用したWEBミーティングのスタイルで、20名程度のスリランカの修了生と、日本の福祉関係者が参加しました。

今回のテーマは「スリランカの文化、歴史と福祉のいまを学ぼう！」です。スリランカの修了生2名(2期修了生セートウンガさん、23期修了生サンジーワさん)をスピーカーに招きました。



【セートウンガさん(第2期・スリランカ修了生)】

- 2009年の紛争終了、2022年の経済危機による政治不安定等を経て、国民生活はようやく安定してきた。
- 国民の7割が仏教を信仰しており、生活や福祉にも仏教の教えが密接に関係している。「社会奉仕の心」を大切にし、家族を中心に助け合う文化があるといえるが、社会福祉の専門性についてはこれから高めていかなければならないと感じている。
- 社会福祉は、制度面から見ると整備されていないことが多く、生活困窮者の問題、高齢化への対応など、福祉従事者として仕組みがないなかで対応に苦慮している。

【サンジーワさん(第23期・スリランカ修了生)】

- 2025年11月に発生した大雨により、所属団体やその周辺が大きな被害を受けた。休校等を経て、ようやく日常が戻ってきたが、家族で被災した子どももいる。
- 視覚障害、聴覚障害のある子どもたちへの教育と自立支援を行う特別支援学校に所属している。地域の企業などの協力を得て、就労支援にも力を入れている。



1月13日～17日には、本ミーティングとの連動企画として「スタディ・ツアー」をスリランカで開催しました。ツアーの様子は、次号の「NEWS LETTERきぼう」で報告予定です。

国際交流・支援活動会員のご案内

「国際交流・支援活動会員」は、アジア社会福祉従事者研修事業や、上記のような修了生との学びあいの事業などを活動面、資金面の両面から支えていただき、ともに活動をつくっていく仕組みです。今後も、上記のような「webを利用した情報交換、意見交換の場」や「現地に出向くスタディツアー」など、会員の皆さまにご参加いただける事業や情報を発信していきます。

【法人会員、個人会員ともに随時 登録を受け付けています】

個人会員は 1口5千円より、法人会員は 1口5万円より、ご登録をお受けいたします。

→詳細は、以下または右記のQRコードより、WEBサイトをご確認ください！

<https://www.shakyo.or.jp/bunya/kokusai/member/index.html>